

2021

同友しずおか 6

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

VOL.511

私の逸品

(株)パシオス

「ローカル・ファースト」
で農業の未来を創る



泰枝 ねらデー
J40-VP
規格 20mm×100m
数量 80個入 色 指定
10019663



静岡県中小企業家同友会

中小企業等支援に関する包括連携協定を沼津信用金庫と締結 金融機関として県内5番目、共に地域社会の発展・成長を目指す



紅野正裕・沼津信用金庫理事長（左）
井上斉・静岡同友会代表理事（右）

静岡同友会は、金融機関5例目となる包括連携協定を5月12日、沼津信用金庫と取り交わし、締結しました。当日は沼津信用金庫から紅野正裕理事長をはじめ4名、同友会からは井上斉代表理事をはじめ6名が出席し、締結式が行われ

ました。本協定は中小企業が抱える経営上の各種課題の解決と地域の中小企業の発展を支援することで、地域経済を活性化させることを目的としています。目的の達成に向けて、(1) 中小企業等への情報提供、(2) 相互の研修等への参



締結式の様子

加・講師派遣、(3) 地域における経済情報、動向等に関する情報交換、(4) 個別企業からの相談対応、(5) その他中小企業等への支援に寄与する事項、の5点を掲げています。
紅野理事長からは「当金庫は2020年4月で70周年を迎え、改めて地域への感謝を感じるとともに、過去・現在・未来における自分たちの役割とは何かを模索し、共有していきたいと思っております。地域の発展には教育と産業の発展なくしては進まないと考えています。この度の連携協定締結を機にさらなる連携強化を図り、地域の発展を目指していきたい」とお話をいただきました。

沼津信用金庫は2019年4月に同友会に入会、現在は岩田信彦理事(御殿場支部)が会員として同友会の活動に参画しています。

これまで静岡同友会は、教育機関では2008年の国立大学法人静岡大学と「相互協力協定」を、また金融機関では2019年3月に当時の島田信用金庫(現島田掛川信用金庫)と、2020年7月に静岡信用金庫と、2020年9月に三島信用金庫、2020年10月に富士宮信用金庫と「中小企業等支援に関する包括連携協定」を締結しています。

《当日の出席者》

沼津信用金庫

- ・ 紅野 正裕氏 (理事長)
- ・ 奈良橋 弘氏 (常務理事)
- ・ 石塚 賢氏 (常勤理事)
- ・ 武田 守晃氏 (執行役員)

静岡同友会

- ・ 井上 斉氏 (代表理事)
- ・ 桑崎 雅人氏 (副代表理事)
- ・ 高木 基氏 (副代表理事)
- ・ 立道 浩幸氏 (御殿場支部長)
- ・ 越膳 徹氏 (沼津支部長)
- ・ 久保 修平氏 (三島支部長)



「ローカル・ファースト」で 農業の未来を創る

(株)パシオス (中遠支部)

代表取締役 うえむら こうたろう 上村 光太郎氏



ハウス栽培のブルーベリー

ビニールハウスのブルーベリー

磐田市で農業法人(株)パシオスを経営する上村光太郎氏の自慢の逸品はハウス栽培のブルーベリーです。夏が収穫期のブルーベリーは露地栽培が普通ですが、ハウス栽培の場合にはより早く収穫可能な上、水耕栽培により水分の供給量を制御できるため、甘さと酸味、歯ざわりや食感などのバランスが良くなること。試食したところ、確かに味はつきりとしていて、歯ざわりも心地よく感じました。ハウス栽培は天候に左右されにくく、安定的に一定量の生産が可能のため、経営の安定にも役立っています。少量の高級品によるブランド化でなく、市場を面で抑えるためある程度の数量を安定して生産する道を選んだ上村氏。設備費がかさむため参入障壁が高いハウス栽培を導入できたことも(株)パシオスの強みになっています。露地も含めて(株)パシオスが利用する農地は40ha超。従業員全員がスマホを携帯し、システムにより広大な農地を効率的に管理して生産物の安定供給に努めています。

農産物のトータルデザイン

上村氏は県外出身の元会社員。工具の製造販売を行う上場企業

で営業を担当しており、商流や価格の構成などを学びましたが「自分の力で食べていきたい」と考え退職を決意。前職と無関係な農業の世界に飛び込みました。農地はすぐに借りることができ、ネギ栽培を開始したものの「何も資本のない状態で一体どういう勝算があるのだ」という先輩農業者からの言葉で覚醒。誰もやっていないことを始め、自分で物流をコントロールできる範囲でのナンバワンを目指すことにしたのです。ブルーベリーよりも前に始めたグリーンアスパラガスやホワイトアスパラガスもその一環。販路に親和性があるため、これらの顧客にブルーベリーも販売できているとのこと。「農協に出せばいい、では後継者が育たない」と上村氏。個々の作物も大事だが、物流や商流も含めた全体像をイ



自慢の逸品 ブルーベリーとアスパラガス

心の中で芽を出す言葉

イメージして、ものづくりをデザインすることを心掛けています。

上村氏は「地域と働く仲間を豊かにする」を自社の経営理念に掲げ、主体性を発揮し、自らリーダーとなって現場で活躍してくれる技能実習生との関係にも心を砕きます。また、就農後に視察したアメリカで学んだ「ローカル・ファースト」という言葉を大切にしていると語ります。「ローカル・ファースト」とは「地域の目線に立って、地域を第一に、そして優先的に考え、地域の資源、文化、歴史を大切に、持続可能な地域社会を形成していく」という考え方で、自分ひとりが勝つのではなく、農業の社会資本を大切にしながら、農業者全体が地域と互いにうまく共存していくか。



広大なキャベツ畑

(株)パシオス

〒438-0808 磐田市豊田378

TEL : 0538-74-0565

URL : <http://passios.jp>

設立 2016年

社員数 正社員 : 3名 パート : 20名

入会年月 2018年1月

事業内容 農業

取材・記事：鈴木弘之氏
(税理士法人 あい会計・中遠支部)

共に働くスタッフをいかに豊かにできるのか。未知の領域に進み、ITとマーケティング力を駆使して経営に邁進する上村氏の挑戦はこれからも続きます。

「地元・お世話になった人たち」に貢献する
その思いの先に…

(有)駿河ビル管理
代表取締役 上田 博和氏 (御殿場支部)



上田 博和氏

いつかは御殿場で起業して
恩返しをしたい!

小田原市出身、18歳から神奈川のビルメンテナンス会社で働いていた上田氏が御殿場で起業したいと思ったきっかけは、20歳と21歳にかけて御殿場へ出向し働いていた時に御殿場の人たちにとても良くしてもらったことだと言います。その後、23歳の時に小田原市で(株)清王サービスを設立、2002年2月に(有)駿河ビル管理を御殿場の地で起業しました。最初は主に御殿場市で事業を行っていましたが、その評判を聞いて、隣の小山町のお客様も増えたそうです。現在は(株)清王セキュリティの本社を御殿場に移し、更なる顧客へのサービス向上に取り組んでいると話してくれました。

同友会はめちやくちや勉強
できる場所

同友会については、小田原にいた頃から知っており、昔から通っていたお店「ラウンジジャジーラの石山美歌氏(御殿場支部)の紹介で入会しました。「人を知ることができ、しっかりと学ぶ場がある同友会にとても価値があると思っていたので、お誘いを受けた際に入会を決定した。毎回例会に行くたびに様々な学びや気づかされることがたくさんある」と熱く語ってくれました。また、「コロナ禍にもかかわらず、御殿場支部に100人以上の会員が所属しているのは、やはり良いものを提供

しているからこそではないか」と言っていた。私たちが例会を準備する側も、更にいい例会を目指さねばと身の引き締まる思いがしました。

今後の大きな夢は「人々の成長を助ける学びの場をつくること」

「今まででやりたいことはやり尽くした」と話す上田氏ですが、さらに大きな夢があると言います。上田氏はもともと社会貢献が大好きで、多くの協会・組織で活躍しており、現在は様々な人たちが勉強できる場を積極的に作っているそうです。「昔は吉田松陰が開いた松下村塾や、松下幸之助が作った松下政経塾のような、教える側が私財を投げ売ってでも人の成長を助ける場があり、そこから多くの立派な方々が誕生した。そのような、人々の成長を助ける学びの場づくりを今後も積極的にしていきたい」と本日一番の笑顔で語ってくれました。



取材の様子

(有)駿河ビル管理

〒412-0042 静岡県御殿場市萩原631-6

TEL : 0550-78-6200

URL : <https://suruga-bk.jp/>

設立 2002年

社員数 80名

入会年月 2020年10月

事業内容 県東部エリアのビル管理業務・ホテル客室クリーニング・工場清掃・店舗清掃等

取材・記事…

岡村 武典氏

(合同会社) 岡村商店・御殿場支部

勝又 茂生氏

(株) 勝又製茶・御殿場支部

鈴木 翔也氏

(株) トップ・御殿場支部



取材陣と上田博和氏 (右から二番目)

会員訪問記

大変でも、あきらめない！
 どうやれば超えられるのかを考える！

(株)シーエーティー
 代表取締役 伊藤 洋子氏 (富士宮支部)



取材陣と伊藤洋子氏 (手前右)

「いきなりピンチからのスタートでした」と語る同社代表取締役の伊藤洋子氏は、自身による創業でもなければ通常の事業承継でもなく、前社長とのトラブルを機に、当時32歳、1歳の子どもを抱える中で平成11年に経営者になりました。いざ、ふたを開けてみると膨大な赤字、借入の問題が山積み。

ここでは記すことが出来ないほどの「壮絶」な資金繰りに追われるピンチだらけの日々でした。そんな中でも多くの社員の仲間に支えられながら「大変でも、あきらめない！どうやれば超えられるのかを考える！」を信条に、一つひとつ解決に向けていきました。

同友会の先輩会員の想いが嬉しかった

伊藤氏は平成13年に同友会に入会。取引先から「経営を学べる会がある」と紹介を受けたのがきっかけでした。当初出席率は高くなかったものの、平成14年に富士宮例会の名物企画「新会員さん出演ですよ」で本音の報告を行った事を機会に、先輩会員からの熱いエールやアドバイスに感銘を受けて、より熱心に同友会活動に取り組むようになりました。

苦難を乗り越えて シーエーティー・チーム一丸での成長

平成15年に一般労働者派遣業を取得してから売上を徐々に伸ばし、代表就任当時から現在では3倍以上の売上まで成長しています。同業他社の急成長を横目で見ても「焦らず自分たちのペースを守る。急成長は望まない」、人を大切に



新社屋の外観



社内風景

する社風・体制を是とし、個人ノルマ、飛び込み営業を課すこともなく、シーエーティーというチームで営業に取り組んできました。社内管理についても同様で、派遣法の改正のたびに、様々な対応を強いられますが、それもチーム一丸で対策にあたっています。社内システムも社員主導で意見を出し合って導入を図るなど、自ら創意工夫しあう心強い社員の結束があります。そうした中で導き出したものは、本当に大切な財産であると感じました。

「楽しい！ 富士宮支部長就任・そして未来に向けて」

令和元年、30周年の節目に新社屋が落成、そして令和3年4月の総会にて、伊藤氏は富士宮支部の支部長に就任しました。「まだ手探りの状態ですが、支えていただき楽しくやっています！増強も明確な目標を立て、支部の皆と挑戦

していきます」と言葉も弾みます。仲間を信頼して共に行動する、人を大切にする伊藤氏の姿勢は、同友会も会社も一貫しています。全従業員への雇用を維持し続けるために、今の事業の幹を太くすべく、新たな販路拡大のチャレンジもしていくと語ります。

言葉にできない程の辛苦を仲間と共に乗り越え続けているからこそ、あふれ出る伊藤氏のやさしさと頼もしさを感じた取材となりました。最後に、敬愛をこめて「洋子姉さん、楽しくやっていますよね！一丸で富士宮支部盛り上げていきましょう！」

取材・記事：田邊 元裕氏

(南カホスメディアワークス・富士宮支部)

望月 知洋氏

(エムスタイル・富士宮支部)

(株)シーエーティー

〒418-0005 富士宮市宮原388-11
 TEL：0544-26-4624
 URL：http://cat-job.com
 設立 1992年3月
 社員数 750名 (うち正社員15名)
 入会年月 2001年5月
 事業内容 一般労働者派遣・人材紹介・業務請負

静岡県中小企業家同友会 第48回定時総会 2025年ビジョンと共に 新体制でのスタート!



代表理事の簗威頼氏、井上斉氏、松葉秀介氏

5月21日(金) 同友会事務局を設営会場として、ZOOMとペガサート(静岡市)で第48回定時総会が開催され、137名が参加しました。コロナウイルス感染拡大により当初予定していた内容が直前で変更となりましたが、書面決議となった2020年度から1年を経て、ハイブリッドでの総

会を開催するに至りました。総会議事の第1号議案、第2号議案ではコロナ禍でのスタートとなった昨年度を振り返り、工夫を凝らし様々な活動が県内外で展開されたことが共有されました。その後、第3号議案で県理事が承認され、会長に再任で遠藤一秀氏(遠藤科学(株))、代表理事に再任で井上斉氏(ワシロック工業(株))、新任で松葉秀介氏(松葉倉庫(株))と簗威頼氏(㈱アサギリ)が就任しました。第4号議案では2025年ビジョンについて、第5号議案では本年度の重点方針が上程されました。本年度は「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」をスローガンに掲げ、全支部、専門委員会、部会・研究会の県同友会が一丸となり、「2025年ビジョン」をふまえた重点方針の実現をめざしていくと共有されました。最後に2020年度会員増強の功労表彰が行われ、年間で3名の紹介をいただいた会員4名と、富士宮支部、静岡支部に井上代表理事より表彰状が贈られました。

2020年度会員増強功労者 3名の入会者をご紹介いただきました!		
浜松支部	江間 省豪氏	データマイン(株) ☆2年連続トップ☆
静岡支部	岩崎 和之氏	ガレージプラス(株)
志太支部	松葉 秀介氏	松葉倉庫(株)
富士宮支部	宇佐美 健介氏	(有)エージェントうさみ

第48回定時総会の記念企画として、青山達弘氏(㈱青山建材工業・副代表理事)をコーディネーターに、松葉秀介氏(松葉倉庫(株)・代表理事)、簗威頼氏(㈱アサギリ・代表理事)、桑崎雅人氏(有)島村歯車製作所・副代表理事)による「2025年

記念企画パネルディスカッション 「2025年ビジョン始動!」 企業、地域、同友会の変革と挑戦を語る

「ビジョン」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」を一体と捉え、また同友会と自社経営を不離一体として実践してきた4者によるパネルディスカッションの様子をご紹介します。

青山…まず「企業づくり」ビジョンの中に
ある「環境変化との『共育ち』」というキーワードが気になりました。

松葉…私の好きなマラソンに例えると、常にジョギングしながら周りの変化を体全体で感じる事が大切ではないかと。同友会と自社経営を一体として捉え、環境や時代の変化に伴い同友会でいかに学びいかに自社で実践してきたかを記録する「不離一体シート」を活用してきました。また、ビジョンを自社に自分サイズで落とし込めるようなものにしたと話し合い、「企業づくり」ビジョンの各項目を「□」のチェックボックスにしました。

青山…環境変化を敏感に捉える、まさに今私たちは「地域づくり」ビジョンのキーワードにもある「パラダイムシ



パネルディスカッションの様子

「フト」の中にいると感じます。桑崎…パラダイムシフトの引き金となったのが新型コロナウィルスの蔓延や自然災害の多発でした。それらを乗り越えるためには今までの価値観、ステレオタイプを捨てることが必要であり、ここから変化が生まれます。実際にリモートワークや副業など、働き方の形も変化してきました。また、「地域づくり」といえば、今まで中小企業振興基本条例を推進していくことのイメージでしたが「自社と地域の未来を語り合い」というワードにあるように、地域の雇用を支える中小企業は地域の未来において重要な役割を担っていると感じま

す。

す。

青山…だからこそ「同友会づくり」ビジョンのキーワードにもある「経営者の矜持(誇り)を持ち続けること」が重要ではないでしょうか。

箕…経営者が自社に誇りを持たなければ企業を、地域を支えることはできません。そして誇りを持つためには明確な目標、経営指針を持ち、実践することだと思っています。

青山…まさに「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」は繋がっていると感じます。箕さんの地域と自社の繋がりについて教えてください。

箕…香川同友会の会員企業(徳武産業)から「会社があることで地域に迷惑をかけている」ことを学び、産廃業・肥料製造を行う弊社では自主的に地域の環境や景観を守ることを意識して取り組んできました。同友会3つの目的の順番の通り、「企業が黒字化して」「組織が成り立つ」そして結果的に「地域が良くなる」のではないのでしょうか。

松葉…ビジョンと聞くと抽象的で大きなものに感じるかもしれないが、何事もダウンサイジングし「自分サイズ」に落とし込むことが大切だと感じます。

桑崎…ぜひ2025年ビジョンを「自分サイズ」に落とし込んで、自社の経営指針見直しのヒントにしていきたいですね。

青山…改めてお三方にとって「ビジョン」

とはどのようなものですか。

松葉…ビジョンは「役割・自覚」という言葉に置き換えられると思います。そのように置き換えることで、自社でも、支部や委員会でもより落とし込めるのではないのでしょうか。自覚が芽生えることで考え方が変わる、未来志向の考え方でなければピンチをチャンスには変えられません。

桑崎…私は「地域づくり」ビジョンに関わる中で、ビジョンは「行き着く先・未来」ではないかと実感しました。私にとっては「ありがたい姿」です。

箕…東日本大震災の時、何もかも流されたけれど経営指針があったから立ち直れた企業がたくさんあります。そんな風に「絶望に追い込まれたときの希望」こそビジョンではないでしょうか。

青山…今回のパネルディスカッションで、2025年ビジョンを実践して、変化を恐れずに挑戦していくことの大切さを改めて感じました。コロナ禍や環境の激変は「未知との遭遇」の連続です。県共育委員会の合同入社式で新入社員へ「未知との遭遇を楽しんで」とメッセージを送ったことがありますが、その言葉が今は自身に向けられていると感じます。失敗してもいいからとにかくやってみることでパラダイムシフトを乗り越える、新たな道を切り拓けるのではないかと思います。

〈参加者感想〉

・議論で終わるのではなく、とにかく実行する。しなければならぬと強く思った。まさにいま自分が地域との関りについて「課題」ととらえていたので貴重な経験だった。それと共に、地域との関りのためにはまず自分自身の会社経営を安定させること、社員の幸せを追求することが第一であり、そのための「経営理念」「経営指針」なのだ。2025年ビジョンを熟読して、自社の経営指針書をすぐに見直そうと思った。



ZOOMからご参加の皆様

6月 16日(水)	伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM) 沼津例会 (19:00 ZOOM) 志太例会 (18:30 島田市東町自治会公会堂 「ひなた」&ZOOM)
17日(木)	浜松・中遠合同例会 (19:00 クリエイト浜松&ZOOM)
18日(金)	全県経営フォーラム実行委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM) 県障がい者問題委員会 (18:00 ZOOM)
22日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 県組織増強委員会 (17:30 ZOOM)
23日(水)	榛南例会 (18:30 牧之原市商工会&ZOOM)
24日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
28日(月)	三島例会 (19:00 三島商工会議所&ZOOM)
29日(火)	第24回女性経営者全国交流会 (9:45 オンライン) 第18期経営指針を創る会 第2講 (19:00 ペガサート&ZOOM)
30日(水)	女性経営者交流会 (18:30 同友会事務局&ZOOM)

7月 1日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
9日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
12日(月)	第18期経営指針を創る会 第3講 (19:00 ペガサート&ZOOM)
13日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
14日(水)	御殿場例会 (18:00 御殿場高原ホテル)
15日(木)	中遠例会 (19:00 未定) 浜松例会 (19:00 クリエイト浜松& ZOOM) 富士例会 (19:00 未定)



《 あなたのスケジュールノートに
必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1058名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
おいかわ 及川 みのる 実	(株)BLENDOT サービス業 (金融コンサルタント、デザイン事業)	静岡	井上 斉
せき 石 ひかり 光	Vario's合同会社 サービス業 (映像制作、ママによるお仕事代行 (テレアポ・事務作業・デザイン等)、サ ビス業 (コーティング等))	静岡	井上 斉
てらだ あきこ 寺田 亜記子	(株)ニューウェーブ A-style ストレッチスタジオ (ストレッチ教室)	志太	寺田 卓正

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

新会員さんこんにちは!

静岡支部 新入会員 (株)カルゴを訪問!

今月は静岡支部5月入会の新会員、(株)カルゴの今井靖氏をご紹介します。国道1号線バイパス牧ヶ谷ICの近くに工場を構え、自動車整備、新車・中古車販売、リース、自動車保険事業を営んでいます。特に自動車整備業に力を入れており、工場内には製造年が古い自動車も並び、一番古いものでは1950年代の自動車修理を請け負ったこともあるそうです。整備に力を入れる背景には「車を通して、人生を楽しんで頂くためのサポートをしていきたい」という創業当時の思いがあります。今後は同友会で交流を深めるとともに自社発展に向けて多くの学びを得ていきたいと語ってくれました。

訪問：若杉 幸秀氏 (有)ティーパワー・静岡支部)

5月は3名入会、会員数は1058名となりました。皆様ぜひ同友会にお知り合いの経営者・後継者の方をご紹介します!



若杉 幸秀氏 今井 靖氏